

報告事項（１）

デマンドタクシー市外便に関するアンケート調査の結果について

１．アンケート調査の実施概要

■調査目的

- ・デマンドタクシーの市外便については、市民からの要望の高まりを受け、平成３１年４月より実証運行を開始したが、利用者は少ないのが現状である。
- ・市外便については、市民の認知度が低いことに加え、利用者からは、運行時間の見直し等についても意見が寄せられている。
- ・については、今後のデマンドタクシー（市外便）の改善を図るにあたり、課題や需要等を把握するため、利用者に対してアンケート調査を実施した。

■調査対象

デマンドタクシー利用登録者で、年齢が６０～８０代の方７００名
（※市外便利用者の９割以上が６０歳以上）

■調査方法

郵送による調査票の送付・回収

■調査期間

令和３年１０月１５日～１１月５日

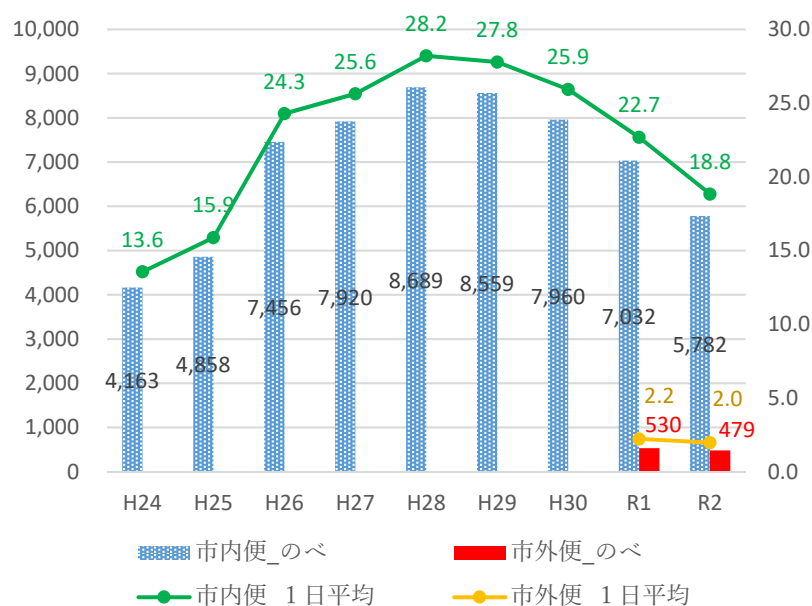
■調査内容

【別紙】アンケート調査票のとおり

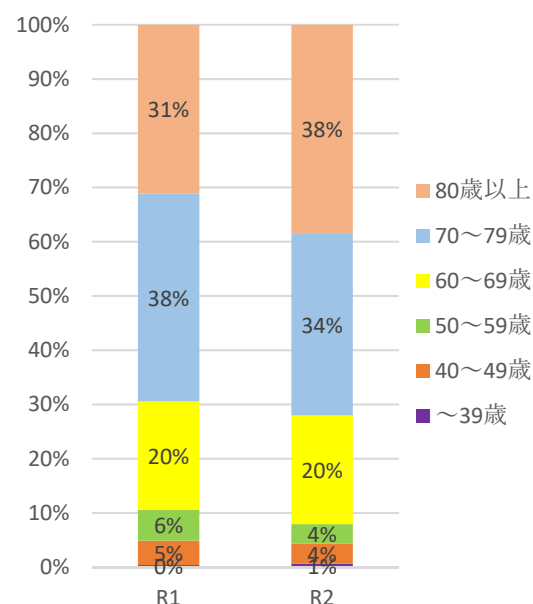
■回収結果

回収率：４７．７％（調査票配布数：７００枚 → 調査票回収：３３４枚）

（参考）デマンドタクシーの利用者数



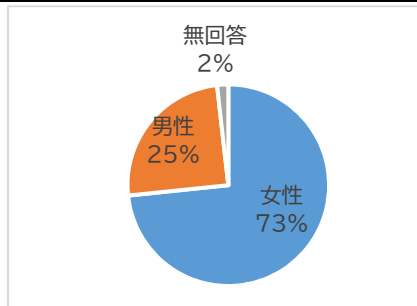
（参考）市外便利用者の年齢



2. 調査結果

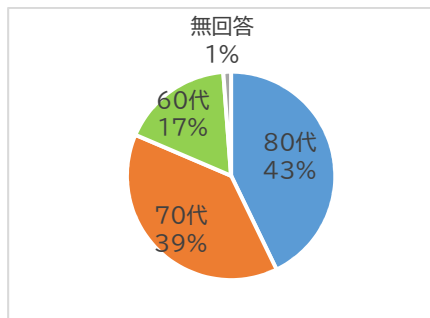
問 1 (1) 回答者の性別 (回答数=334)

⇒ 「女性」が73%、「男性」25%と女性の割合が高い。(男性の約3倍)



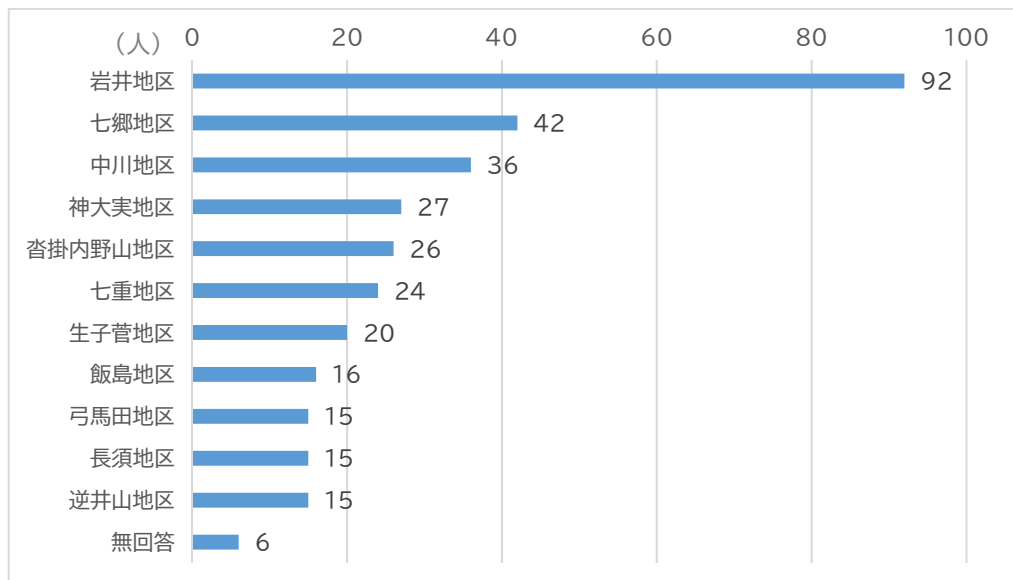
(2) 回答者の年齢 (回答数=334)

⇒ 「60代」が17%、「70代」が39%、「80代」が43%とより高齢な人の割合が高い。



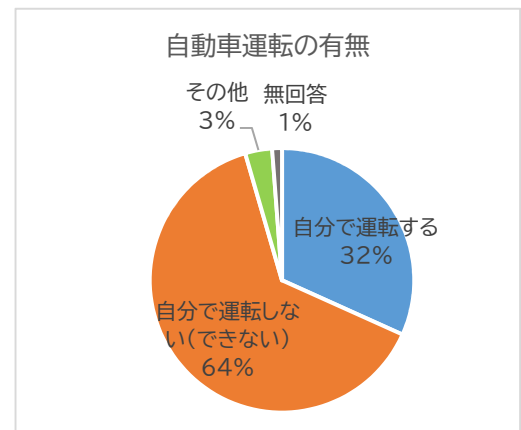
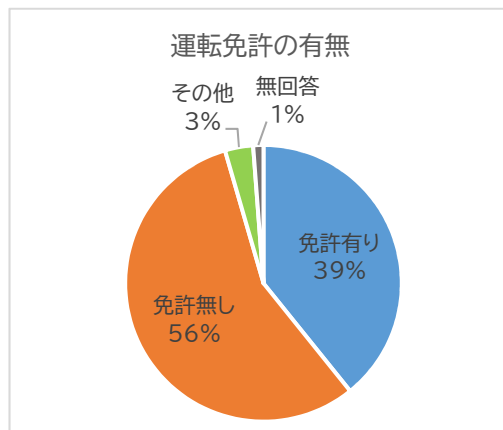
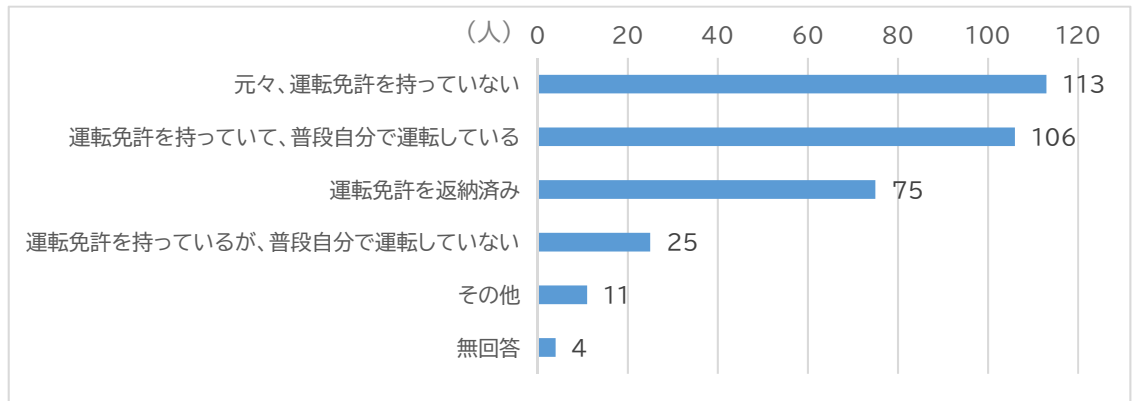
(3) 回答者の居住地 (回答数=334)

⇒ 「岩井地区」が92人と突出して多く、全体の28%を占めた。次に多いのが「七郷地区」の42人で、全体の13%となっており、その次は「中川地区」の36人で、全体の11%となっている。最も少なかったのは、「弓馬田地区」、「長須地区」、「逆井山地区」の15人で、全体の4%となっている。



(4) 自動車運転の有無 (回答数=334)

⇒ 「元々、運転免許を持っていない」という方が113人と最も多く、全体の34%を占めた。次に多いのは、「運転免許を持っていて、普段自分で運転している」という方の106人で、全体の32%となっている。「運転免許を返納済み」の方は75人で、全体の22%、「運転免許を持っているが、普段自分で運転しない」という方は11人で、全体の7%となっている。



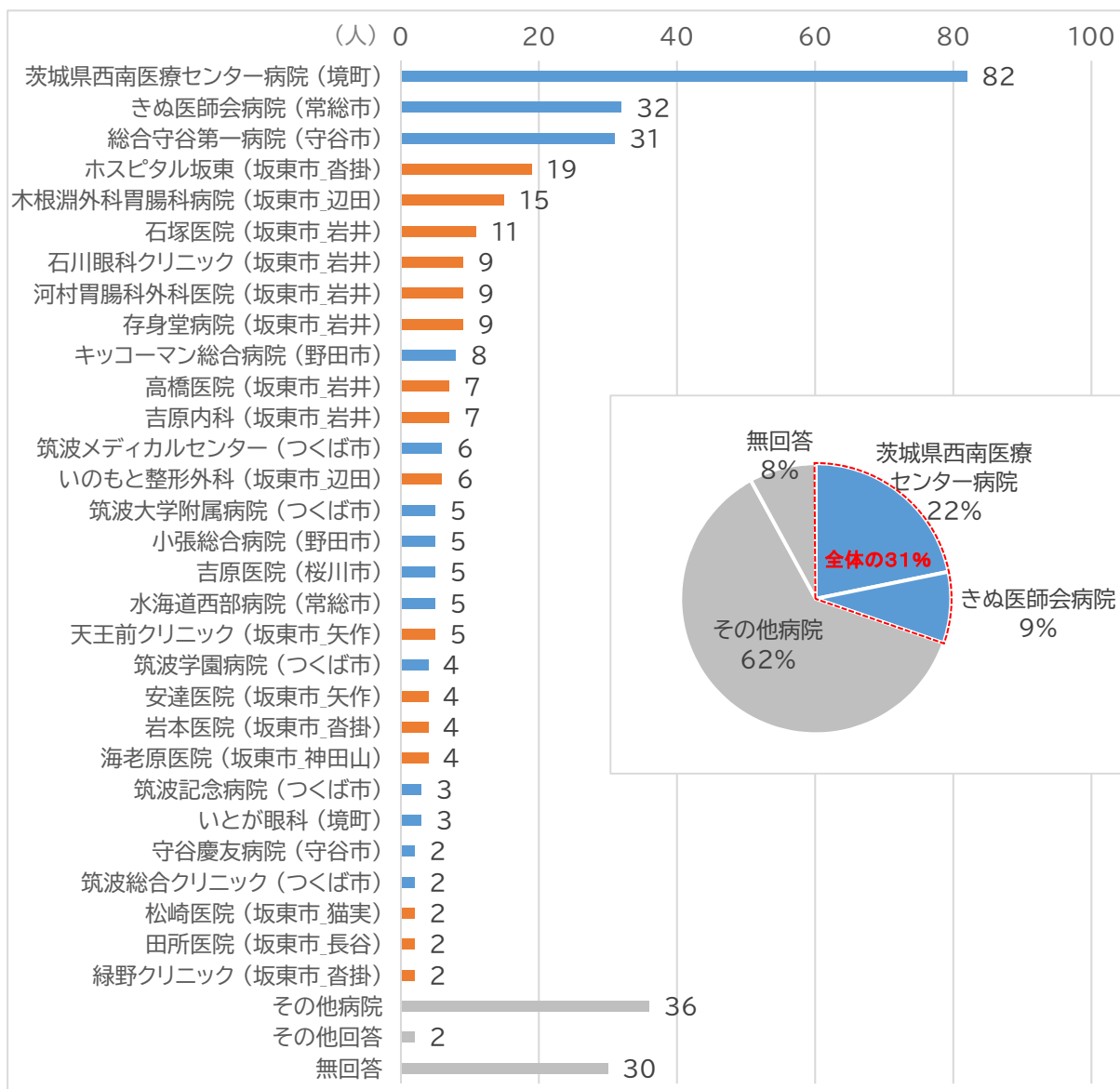
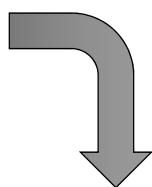
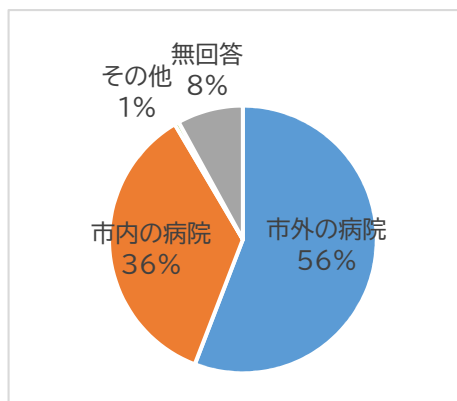
⇒ 単純に運転免許の有無だけで見ると、「免許有り」が39%、「免許無し」は56%であるが、免許有りの方の中にも、普段、自分で車を運転しないという方が7%いるため、結果、「自分で車を運転しない・できない」という方は64%であった。

問2 普段、診察等で行くことが多い病院（回答数＝376）

⇒ 「市内の病院」が36％に対し、「市外の病院」は56％と、市外の病院に通う方が多い結果となった。上位3病院もすべて市外の病院であり、特に境町の「茨城県西南医療センター病院」が突出して多く、全体の約22％を占めた。続いて多かったのは、常総市の「きぬ医師会病院」で全体の約9％、守谷市の「総合守谷第一病院」で全体の約8％となっている。

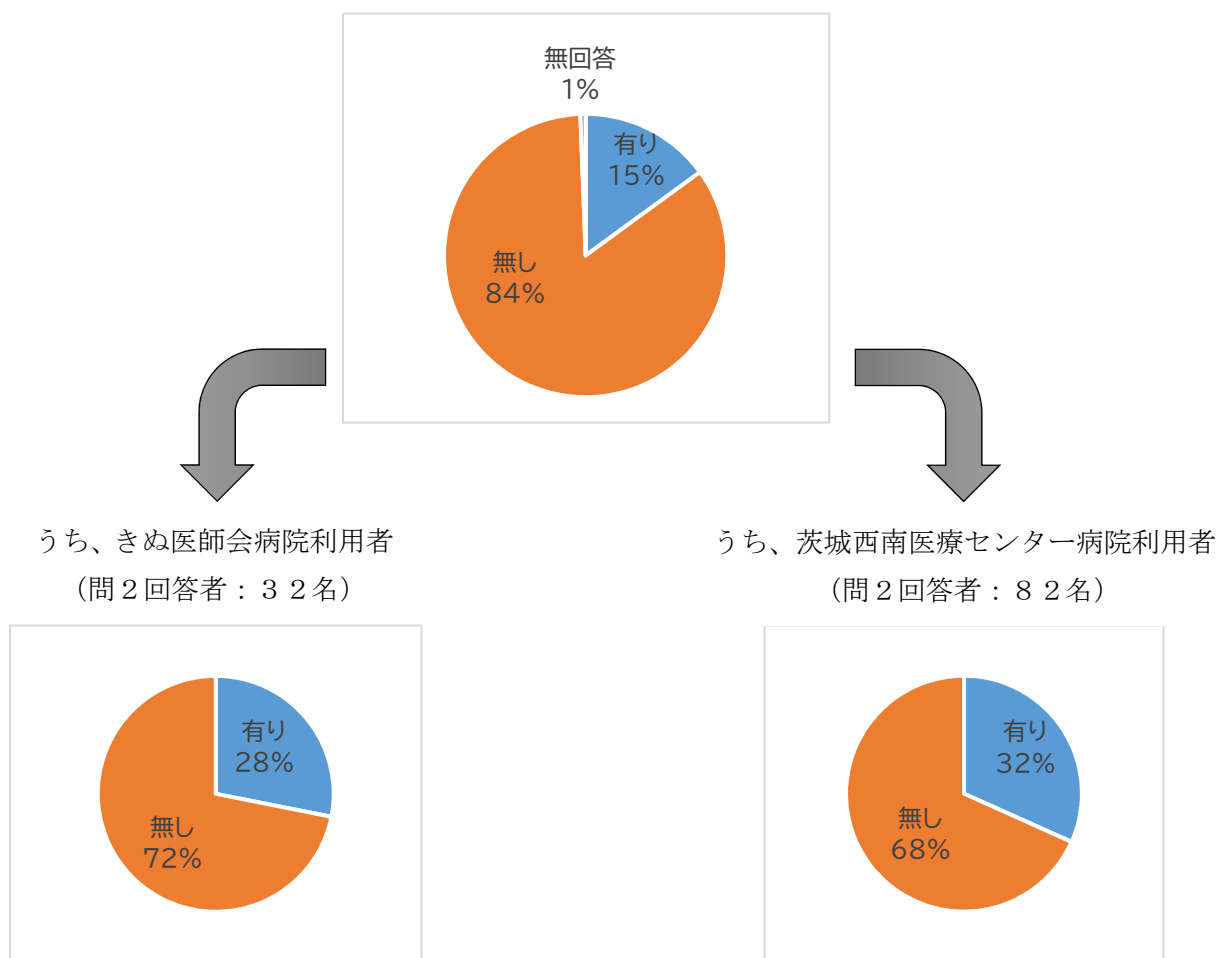
市内の病院の中では、杣掛地区にある「ホスピタル坂東」が最も多く、全体の約5％を占めた。その他、市内中心部である岩井地区の病院が、比較的多い結果となった。

⇒ 通っている病院は様々で、市内外に拡散している状況ではあるが、デマンドタクシー市外便の運行先である2病院については、比較的利用者は多い。（2病院合わせて、全体の約31％）



問3 市外便の利用経験（回答数＝334）

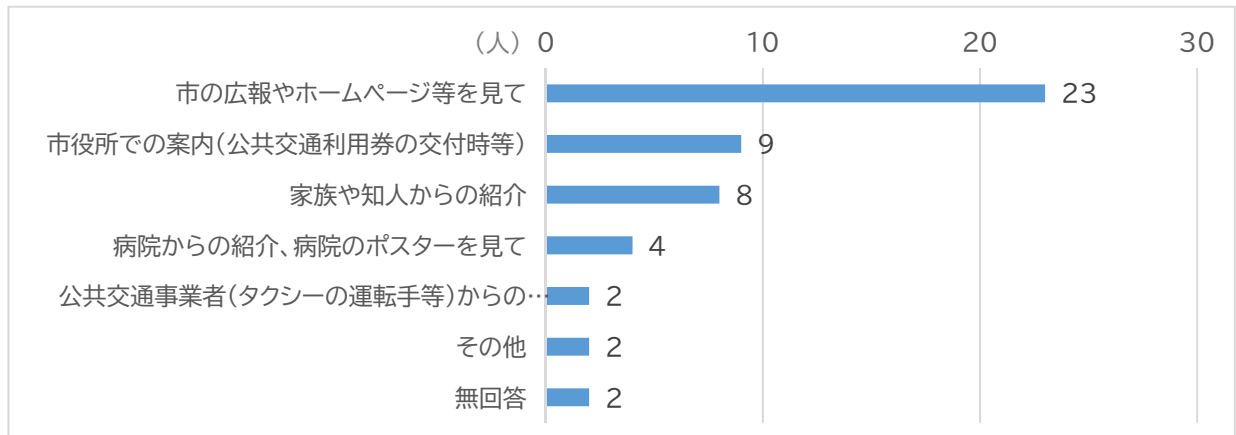
⇒ 「利用経験有り」が15%、「利用経験無し」が84%と、利用経験の無い方が多数であった。
⇒ 市外便運行先の病院を利用する方（問2回答者）について見ると、
きぬ医師会病院の利用者については、「利用経験有り」が28%、「利用経験無し」が72%
であり、茨城西南医療センター病院の利用者については、「利用経験有り」が32%、「利用
経験無し」が68%であった。いずれも、利用経験の無い方が7割程度おり、潜在的な利用
者がまだ多いものと思われる。



【※問４～７は、「市外便の利用経験有り」の方が対象】

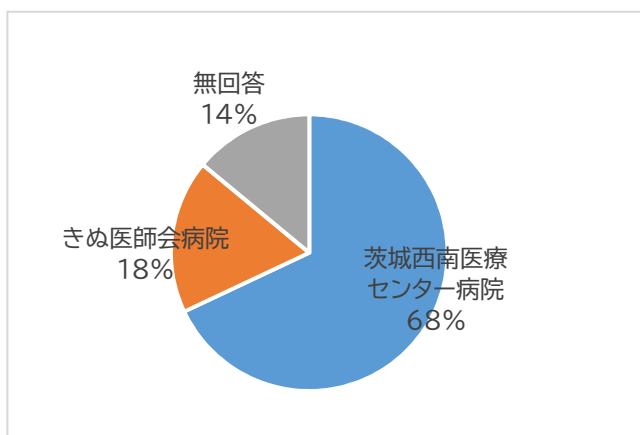
問４ 市外便を知ったきっかけ（回答数＝５０）

⇒ 「市の広報やホームページ等見て」知ったという方が２３人で最も多く、全体の約４６％を占めた。その他、「市役所での案内」で知ったという方が全体の約１８％、「家族や知人からの紹介」で知ったという方が全体の約１６％であった。



問５ （１）利用したことがある市外便の行き先（回答数＝５０）

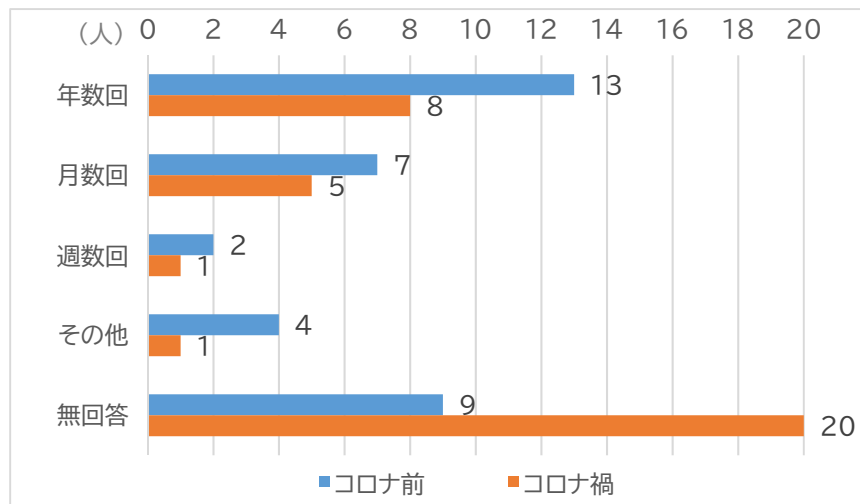
⇒ 「茨城西南医療センター病院」が６８％、「きぬ医師会病院」が１８％と、茨城西南医療センター病院への通院に利用したことがある方が多数であった。



(2) 市外便の利用頻度

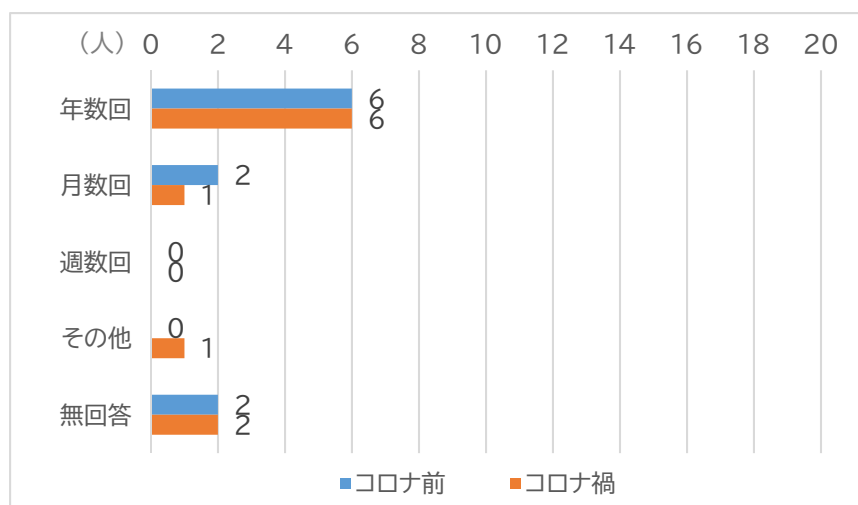
ア 茨城西南医療センター病院行き (回答数=35)

- ⇒ コロナ前の利用頻度については、「年数回」が13人と最も多く、全体の37%を占めた。頻度が高くなるほど、その人数は少なく、日常的に市外便を利用する方も少ないことが考えられる。
- ⇒ コロナ禍の利用頻度については、いずれも、コロナ前より減少しており、コロナ感染防止のため通院の機会を控えたことも考えられる。



イ きぬ医師会病院行き (回答数=10)

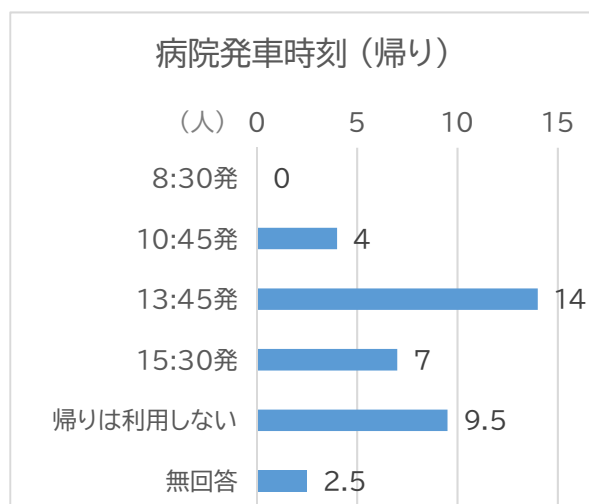
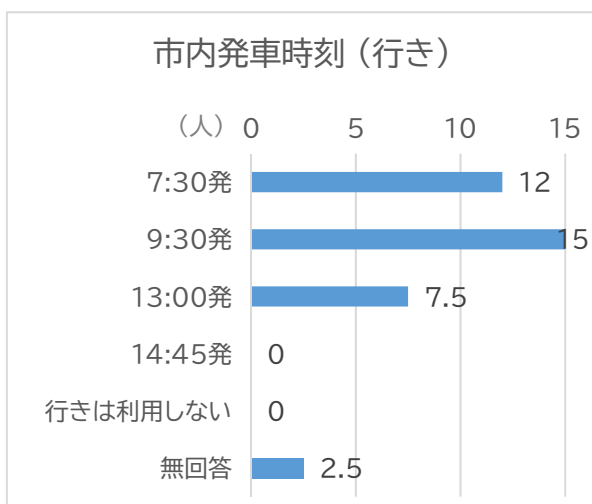
- ⇒ コロナ前の利用頻度については、「年数回」が6人と最も多く、全体の60%を占めた。頻度が高くなるほど、その人数は少なく、日常的に市外便を利用する方も少ないことが考えられる。
- ⇒ コロナ禍の利用頻度については、コロナ前と概ね変わりがなかった。



問6 利用することが多い市外便の運行時

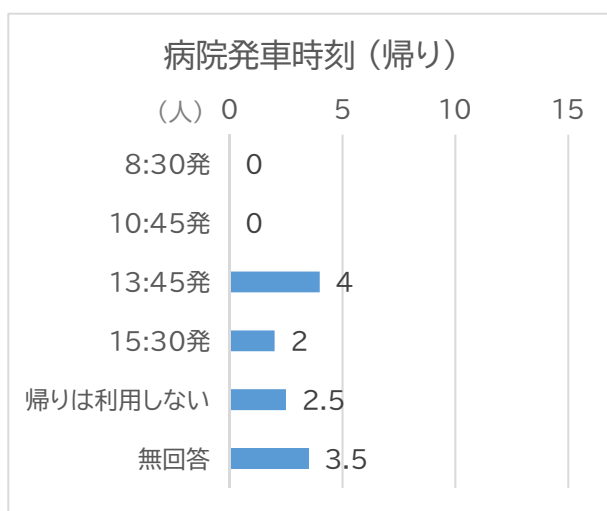
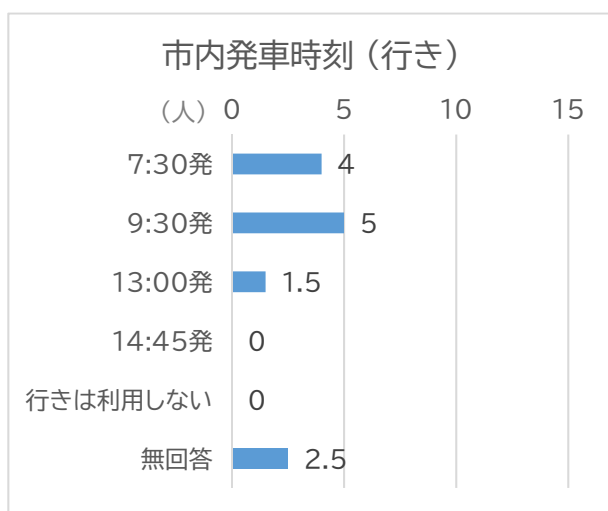
(1) 茨城西南医療センター病院行き (回答数=74)

⇒ 市内発の便については、午前中の利用が全体の約8割を占めており、「9:30発」が21人と最も多い。
 ⇒ 病院発の便については、午後の利用が全体の約6割を占めており、「13:45発」が14人と最も多い。また、「帰りは利用しない」という方も比較的多く、全体の約3割を占めている。帰りは時間が読めない等の理由で、利用しないということが考えられる。



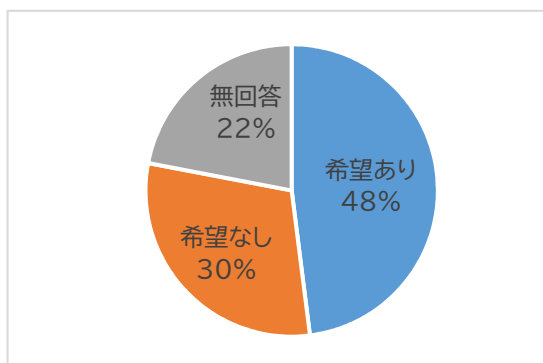
(2) きぬ医師会病院行き (回答数=25)

⇒ 市内発の便については、午前中の利用が全体の8割以上を占めており、「9:30発」が5人と最も多い。
 ⇒ 病院発の便については、すべて午後の利用であり、「13:45発」が4人と最も多い。また、「帰りは利用しない」という方も比較的多く、全体の約3割を占めている。帰りは時間が読めないなので、利用しないということが考えられる。



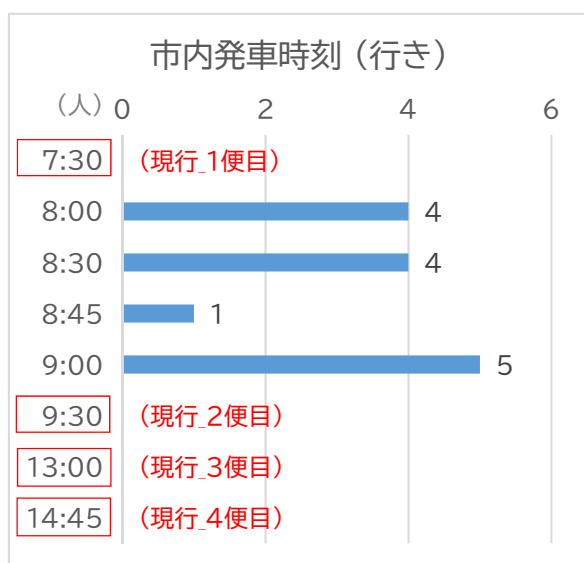
問 7 (1) 現在の運行時刻以外での運行希望 (回答数=50)

⇒ 市外利用者50名のうち、現在の運行時刻以外での運行を希望したのは、24人で、全体の48%であった。希望が無い方は15名で全体の30%、無回答が11名で22%であった。約半数の方が、運行時刻の見直しを希望していると考えられる。



(2) 運行してほしい時間帯 (回答数=36)

⇒ 病院発の便を希望する人が多く、中でも「11時～13時」の時間帯が14人と最も多かった。これは、現行の2便目と3便目の間が、3時間空いてしまっているため、人によっては、丁度良い時間の便が無いことが理由と考えられる。(2便目に間に合わない場合、午前中に診察等が終わったとしても、1時間45分以上待つことになるのが現状)
⇒ 市内発の便については、「8時～9時」の時間帯に集中しており、14人が希望した。



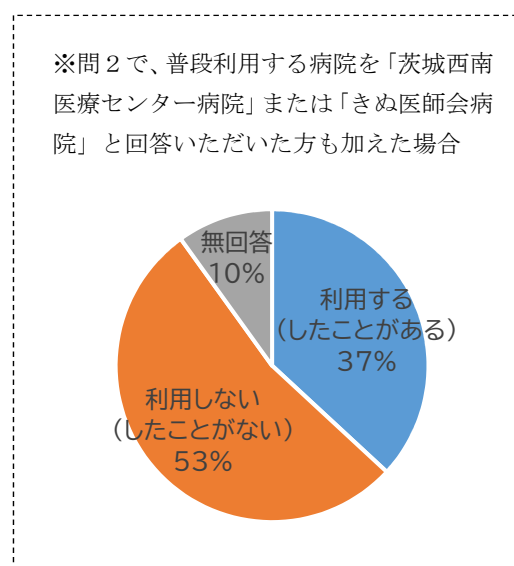
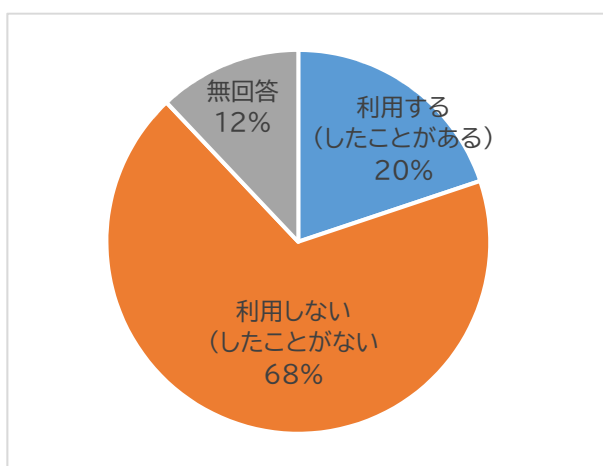
【※問 8～11 は、「市外便の利用経験無し」の方が対象】

問 8 (1) 「茨城西南医療センター病院」または「きぬ医師会病院」の利用の有無 (回答数＝282)

⇒ 「利用する (したことがある)」が 56 人で全体の 20%、「利用しない (したことがない)」が 192 人で全体の 68%と、利用しない方が多数であった。

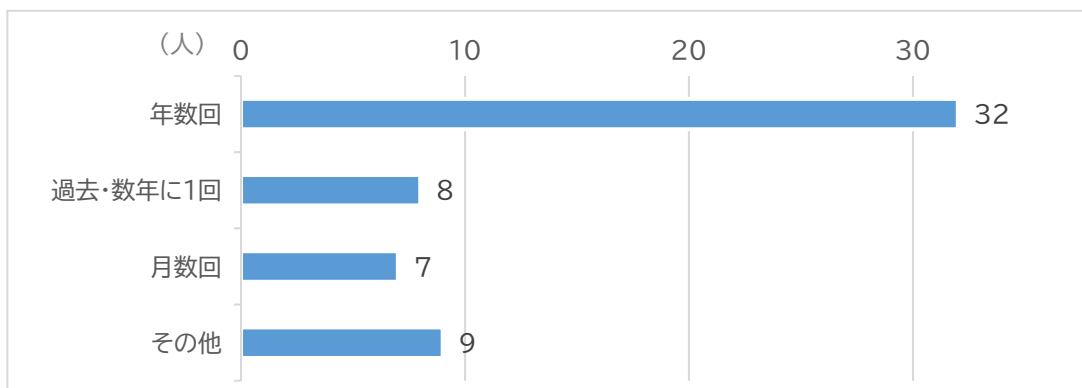
(※問 2 で、普段利用する病院を「茨城西南医療センター病院」または「きぬ医師会病院」と回答いただいた方も加えた場合は、「利用する (したことがある)」が 104 人で 37%、「利用しない (したことがない)」が 150 人で 53%となる。)

⇒ 市外便を利用したことがない方の中にも、「茨城西南医療センター病院」や「きぬ医師会病院」を利用する人は 20%以上 (37%) いるため、潜在的な利用者はまだ存在すると考えられる。



(2) 「きぬ医師会病院」または「茨城西南医療センター病院」の利用頻度 (回答数＝56)

⇒ 「年数回」が 32 人と最も多く、全体の 57%を占めた。頻度が高い方でも「月数回」であり、日常的に利用する方はいなかった。



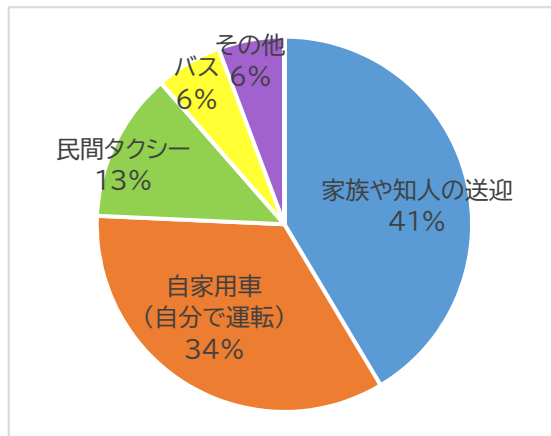
【※問 9 ～ 1 1 は、「市外便の利用経験無し」かつ「市外便運行先病院の利用有り」の方が対象】

問 9 「きぬ医師会病院」または「茨城西南医療センター病院」を利用する際の移動手段

(回答数＝70)

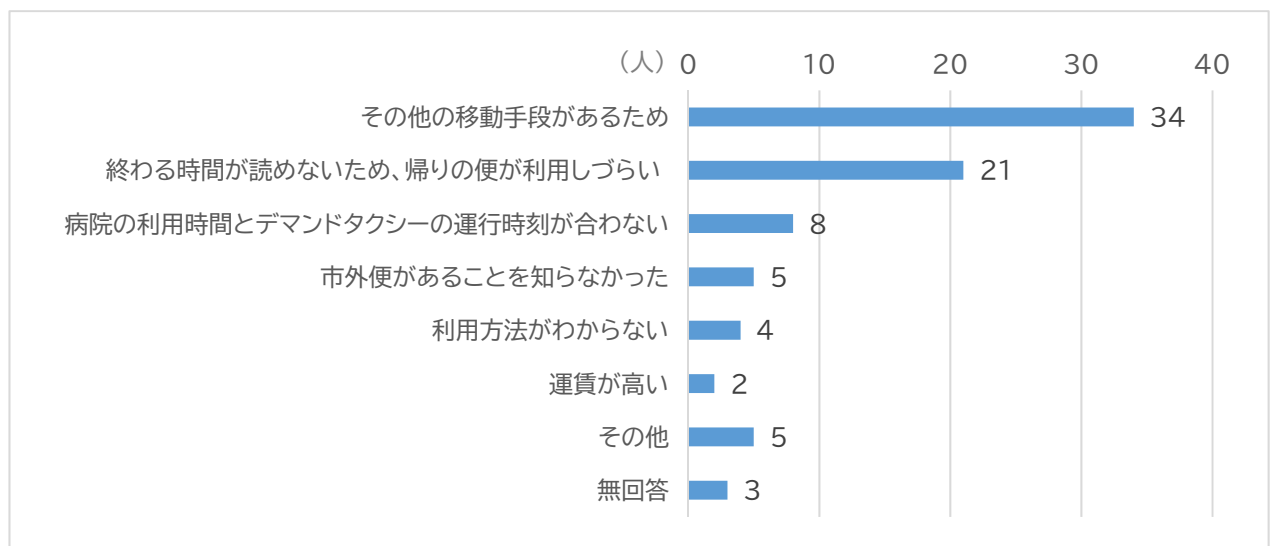
⇒ 「家族や知人の送迎」が29人と最も多く、全体の41%を占めた。次に多かったのは、「自家用車」の24人で、全体の34%であった。バスやタクシー等の公共交通で移動している方は、全体の20%程度であった。

⇒ 特に、「家族や知人の送迎」で移動している方等は、デマンドタクシーの潜在的な利用者として考えられ、今後、利用者を増やしていく余地は、まだあるものと思われる。



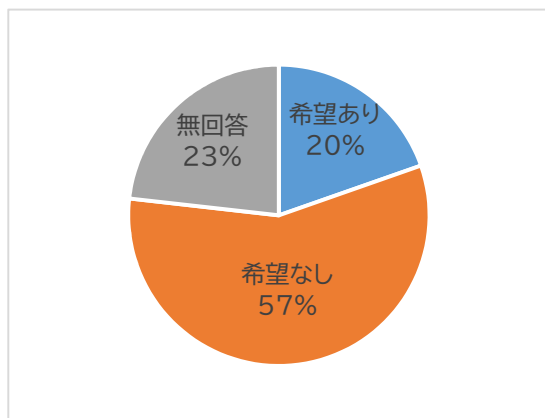
問 10 「きぬ医師会病院」または「茨城西南医療センター病院」を利用する際に、デマンドタクシー市外便を利用しなかった理由 (回答数＝82)

⇒ 「その他の移動手段があるため」という理由が34人と最も多く、全体の41%を占めた。次に多かったのが、「終わる時間が読めないため、帰りの便が利用しづらい」という理由の21人で、全体の26%であった。また、「病院の利用時間とデマンドタクシーの運行時刻が合わない」という理由も8人おり、運行時刻に関する理由が、合わせて36%を占めた。その他、「市外便があることを知らなかった」や「利用方法がわからない」といった理由も、合わせて10%程あり、一部の方に情報が届いていないことも考えられる。



問 1 1 (1) 現在の運行時刻以外での運行希望の有無 (回答数=56)

⇒ 「市外便利用経験は無いが、運行先の病院を利用する」と回答した56名のうち、現在の運行時刻以外での運行を希望したのは、11人で、全体の20%であった。希望が無い方は32名で全体の57%、無回答が13名で23%であった。



(2) 運行してほしい時間帯 (回答数=25)

⇒ 市内発の便については、「8時～8時30分」及び「10時～11時」の時間帯を希望する方が多かった。

⇒ 病院発の便については、「11時～13時」の時間帯を希望する方が多かった。

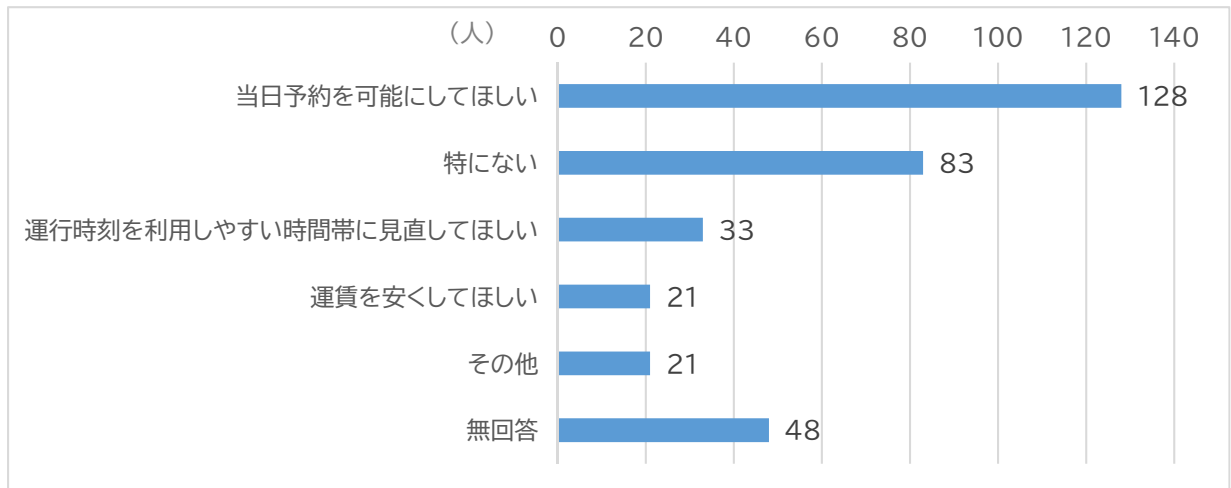


【※問 1 2 ～ 1 3 は、すべての方が対象】

問 1 2 市外便について改善してほしい点（回答数＝ 3 3 4）

⇒ 「当日予約を可能にしてほしい」が 1 2 8 人と最も多く、全体の 3 8 % を占めた。次に多かったのは、「運行時刻を利用しやすい時間帯に見直してほしい」の 3 3 人で、全体の 1 0 % であった。

⇒ 「特にない」と回答した人も 8 3 人と、比較的多かったが、その回答者の殆どが市外便の利用経験の無い方であった。



<その他の内容>

- ・ 買い物等、所用に利用できるようにしてほしい。
- ・ 土曜日も運行してほしい。
- ・ 便数を増やしてほしい。
- ・ タクシーを利用できるように、タクシー券を改善してほしい。
- ・ 他の病院への運行してほしい。（守谷市・つくば市・野田市方面）
- ・ 利用券を 1 枚ごとに購入できるようにしてほしい。 等

問 1 3 その他デマンドタクシーに関する意見等（自由記述）

- ⇒ 運行先について、「その他の病院へも運行してほしい」という意見が19件あった。中でも守谷市内への運行希望が多かった。
- ⇒ 予約や運行時間については、「当日予約を可能にしてほしい」という意見が17件、「帰りの便が利用しづらい」という意見が13件と多かった。
- ⇒ その他、「現在はデマンドタクシーを利用していないが、今後、運転できなくなったとき等は利用したい」との意見が27件と多かった。

分 類	意見等の内容
運行先について	・その他の病院へも運行してほしい。【19件】 ⇒ 総合守谷第一病院:8件、守谷慶友病院:2件、あかおぎ整形外科クリニック:2件、小張総合病院:1件、おのぼりクリニック:1件、筑波大学付属病院:1件、筑波メディカルセンター:1件、守谷市内:2件、野田市内:1件 ・病院以外の場所への利用も可能にしてほしい。【3件】 ・市外便の行先を増やしてほしい。 ・行き先を自由に選択できるようにしてほしい。 等
予約・運行時間・について	・当日予約を可能にしてほしい。【17件】 ・帰りの便が利用しづらい。【13件】 ・運行便数を増やしてほしい。【3件】 ・予約が無くても、帰りの便に空きがある場合は、それに乗れるようにしてほしい。【3件】 ・病院の予約とデマンドタクシーの時間が合わないから利用できない。【2件】 ・発車時間より病院の到着時間がわからないと利用しにくい。 ・予約なしで利用できればありがたい。 ・利用する時間が自由であると良い。 ・30分刻み位の運行だと便利に使える。 ・電話が繋がらない事が多い。 ・土日でも予約(運行?)できるとよい。 ・当日予約は無理だから、前もって予約をとってからデマンドを使用すると良いと思う。 ・市内便で朝7時～8時の間に利用出来たらありがたい。 ・朝8時くらいから利用可能なら良いと思います。 ・運行時間を見直してほしい。 ・予約がしにくい。 ・朝7時30分発の便では、到着後、病院がまだ開いていないので、外で待たなくてはならない。次の午前9時30分発の便では診察が遅れてしまう。 等
料金について	・料金を安くしてほしい。【3件】 ・無料にしてほしい。 ・当日予約が可能になれば、運賃は高くなってもいい。 等
車両・運行台数について	・車両を小さくして、その分、増便か減額してほしい【3件】 ・デマンドタクシーの台数を増やしてほしい。 等
情報発信等について	・デマンドタクシーの利用方法をわかりやすく周知してほしい。【4件】 ・年寄りのいる家庭に時刻表を配るのもいいと思う。

	・デマンドタクシーもコミュニティバスもわかりやすい時刻表にしてほしい。 ・そもそもデマンドタクシーの事がわからない。 ・市内発車時刻がわかっても市内から家までどのくらいの時間がかかるのか、どこかのバス停まで出向くのかわからない。 等
今後の利用について	・今後、自分で運転できなくなったときは、利用したい。【27件】 ・今後もデマンドタクシーを続けてほしい【5件】 ・免許返納等により、今後利用する事が多くなると思う【2件】 ・家族の送迎があるので利用したことがない(当分利用はない)。【2件】 ・コロナが落ち着いたら、また利用したい。 ・今後利用したいので、予約方法と運行時刻・利用料金を知りたい。 ・主人がまだ運転できるので利用した事がない。 等
今後の運行、代替案について	・民間タクシーの利用に対して助成する形の方がいいのではないかと。【3件】 ・病院行デマンドタクシーをフィルタリングすると、1) 病気があり、2) 通院が必要、3) 自走ができない、4) 病院でひとりで対応できる(介添えがいらない) という人。でタクシーが行ける病院に行く人。制度としては良いがニーズとしての運用の考え方を抜本的に考えた方が良くと思います。 ・市外便の利用者が少ないのであれば、廃便にして市内便を充実した方が良くのではないのでしょうか。 ・停留所と時間を決めて多数の人を乗せて運行すれば費用も安くなりませんか？ ・廃止する時はタクシー代金を1/2か2/3補助してほしい。
その他	・利用方法が面倒(利用しづらい)なので、利用するのをやめた。【3件】 ・酸素を使用しているので、介助してほしい。 ・特にコミュニティバス、民間バスが運行していない地域の公共交通の改善、他市町との広域的連携の強化、高齢者、学生に寄り添った福祉優先に考えてください。 ・アンケートを取るなら運転免許証がない人や返還した人に聞いてみると良いと思う。 ・今まで利用した人の意見を集約し、見直していただきたい。 ・親の送迎を担ってきた我々ですが、子ども世代に頼ることは困難とも思え、今後の生活に大きな不安を感じます。更なるご高配をお願いします。 ・私は介添え者で利用させてもらっていますが、沓掛交通さん、ナガツマ交通さんの運転手さんどちらも親切にしてくれて助かっています。 ・どうしても知人に頼ったり、普通のタクシーを利用してしまふ。 ・何時も助かっています。ありがとうございます。 ・一人暮らしはデマンドや巡回バスに頼るしかありませんので感謝しております。 ・玄関まで迎えに来て頂けるし運転手さんが良い人でとても感謝しております。お金も安いのでありがとうございます。 ・利用者は少なくとも老人が多くなる時代に向かっている事を考えると、タクシーの往復は金額が高くなる事等考えて欲しい。(入院時は月タクシー代5～6万かかりました) ・タクシー券を配られても、往復 7000 円位かかるので、年に2回しかタクシー券は使いません。子供に休んでもらって病院へ通っています。どこの病院でも半額位の交通費でデマンドタクシーが使えれば良いと思っています。 等

3. 結果まとめ

回答いただいたデマンドタクシー利用登録者のうち、8割以上の方が市外便を利用したことがないという結果であった。そのうち、運行先である「茨城西南医療センター病院」または「きぬ医師会病院」を普段利用すると答えた方は約2割※であり、市外便を利用しない主な理由は次の2つであった。（※問2の結果では約4割）

一つ目は、自分で車を運転できることや家族の送迎等、「その他の移動手段があるため」という理由であった。全回答者のうち、約3割の方が自分で車を運転している状況にあり、そういった方々の殆どは、デマンドタクシー自体を利用していないものと思われる。ただし、「今後、運転できなくなったときは利用したい」といった意見も多くあった。

また、市外便の運行先である病院（西南・きぬ）を普段利用している方の移動手段は、「家族や知人の送迎」が約4割と最も多かった。そういった方々は特に、市外便の潜在的な利用者として考えられるので、家族の方へも向けた宣伝方法等も検討のうえ、情報発信を行う必要がある。

二つ目は、「診察等の終わる時間が読めないので、帰りの便が予約しづらい」や「病院の利用時間と運行時刻が合わない」といった運行時間に関する理由であった。市外便を利用される方の多くは、午前中の便で病院に向かう方が8割以上であるが、その場合、お昼までに利用できる帰りの便は、「10時45分発」しかない。この便に間に合わない場合は、3時間後の「13時45分発」を利用するしかなく、結果、長時間待つことになるので、利用者の多くは不便を感じている。現状、お昼の時間帯は、デマンドタクシー運転者のお昼休憩も確保しなければならないため、帰りの便の発車時刻が3時間空いてしまう状況にあるが、この課題については、運転を委託している事業者とも協議のうえ、運行時刻の見直し検討する必要がある。

その他、多くいただいた意見としては、「その他の病院へも運行してほしい」や「当日予約を可能にしてほしい」といったものである。前者は、民間の交通事業者への影響や現在の運行車両台数（2台）での対応等を考えると、実現が難しいのが現状である。後者についても、現在、電話受付オペレーターがほぼ1人で配車計画まで行っている状況のため、実現は難しいと思われるが、市外便に限定した対応やデジタル技術（AIによる予約・配車システム等）の導入を検討する等、改善の可能性を模索していくことは必要である。また、「市外便があることを知らなかった」や「利用方法を解りやすく周知してほしい」といった声もあるので、よりわかりやすく、定期的な情報発信を行っていく必要がある。

4. 今後の対応について

- 運行時刻見直しに関する具体的な検討（特に11時～13時の病院発の便について）
- 予約方法の改善検討（現状の体制・経費でどこまで対応できるか）
- デジタル技術の導入検討（適性や費用等の整理）
- 定期的な情報発信（本人だけではなく関係者に向けた発信等）

坂東市デマンドタクシーに関する利用者アンケート (ご協力のお願い)

◎ 問10 「きぬ医師会病院」または「茨城西南医療センター病院」を利用する際に、デマンドタクシー市外便を利用しない(利用しなかった)理由を教えてください。(〇は二つまで)

1. 市外便があることを知らなかった
2. 市外便があることは知っていたが、利用方法がわからない
3. その他の移動手段(自家用車、家族送迎等)があるため
4. 病院の利用時間(予約時間)とデマンドタクシーの運行時刻が合わない
5. 診察等が終わる時間がわからないため、帰りの便の予約がしづらい(当日予約ができない)
6. 運賃が高い
7. その他()

◎ 問11 問6に記載の時間(1～8)が、現在の市外便の運行時刻です。それ以外で運行してほしい時間帯はありますか。ある場合は、具体的な時刻を記載してください。(〇は一つ)

1. ない
2. ある →

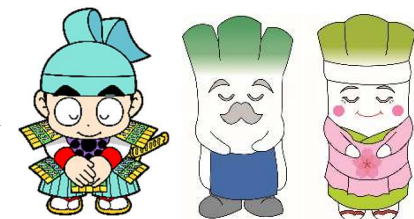
	市内発車時刻	市外病院発車時刻
第1希望	午前・午後 時 分	午前・午後 時 分
第2希望	午前・午後 時 分	午前・午後 時 分

★ ◎ 問12 デマンドタクシーの市外便について、特に改善してほしい点は何ですか。(〇は一つ)

1. 特にない
2. 運行時刻を、利用しやすい時間帯に見直してほしい
3. 当日予約を可能にしてほしい
4. 運賃を安くしてほしい
5. その他 ()

★ ◎ 問13 その他デマンドタクシーに関するご意見等ございましたらご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。



日頃から、市政へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

市では、デマンドタクシー「らくらく」を始めとした公共交通をより使いやすくなるように検討を進めております。特に、平成31年から実証運行中のデマンドタクシー市外便(きぬ医師会病院・茨城西南医療センター病院行き)については、利用者が少ない状況にあることから、利用者の需要に合わせた運行内容の見直し等を検討しているところです。

つきましては、市外病院利用状況やデマンドタクシー市外便に対するご意見等を頂戴したく、アンケート調査を実施させていただきます。お手数をおかけして恐縮でございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、デマンドタクシー利用登録者のうち、年齢60歳以上90歳未満の方々、700名を無作為に抽出させていただき、無記名にて実施いたしますので、個人が特定されることはありません。また集計したデータは、他の目的で使用することも一切ございません。

令和3年10月 坂東市長 木村 敏文



より使いやすいデマンド
タクシーを目指します！



＜ご記入にあたってのお願い＞

- お答えいただいたアンケート調査票(本紙)を同封の返信用封筒に入れ、
11月5日(金)までに お近くの郵便ポストにご投函願います。(切手は不要です。)
- 宛名のご本人様をご回答ください。
※記入が困難な方におかれましては、ご家族やご友人の方などが、ご本人の立場になって、代筆くださいますようお願いいたします。
- ご不明な点につきましては、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

坂東市役所 企画部 企画課 企画係
〒306-0692 坂東市岩井4365番地
電 話：0297-35-2121 (内線1363)
FAX：0297-35-8201
E-mail：kikaku@city.bando.ibaraki.jp

ご協力よろしくお願いいたします。

※ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
質問文の末尾に記載してある「○をつける数」に応じて記載してください。

性別	年齢
1. 男性 2. 女性	1. 60歳代 2. 70歳代 3. 80歳代
居住地	
1. 岩井地区 2. 弓馬田地区 3. 飯島地区 4. 神大実地区 5. 七郷地区 6. 中川地区 7. 長須地区 8. 七重地区 9. 生子菅地区 10. 逆井山地区 11. 沓掛内野山地区	
自動車運転の有無	
1. 運転免許を持っていて、普段自分で車を運転している 2. 運転免許を持っているが、普段自分で車を運転していない (高齢により運転に自信が無い、運転することが難しい等) 3. 運転免許を返納済み 4. 元々、運転免許を持っていない 5. その他 ()	

1. 茨城西南医療センター病院（境町） 2. きぬ医師会病院（常総市）
3. 水海道西部病院（常総市） 4. 総合守谷第一病院（守谷市）
5. その他 → （病院名： ）

1. ある → 以降は、「★」の付いた質問のみご回答ください（問4～7、問12、問13のみ）
2. ない → 以降は、「◎」の付いた質問のみご回答ください（問8～13のみ）

1. 市の広報やホームページ等を見て
2. 病院からの紹介、病院のポスターを見て
3. 家族や知人からの紹介
4. 公共交通事業者(タクシーの運転手等)からの紹介
5. 市役所での案内(公共交通利用券の交付時等)
6. その他()

行き先	利用頻度(コロナ前)	利用頻度(コロナ禍)
1. 茨城西南医療センター病院	年・月・週 に 回程度	年・月・週 に 回程度
2. きぬ医師会病院	年・月・週 に 回程度	年・月・週 に 回程度

市内発車時刻(行き)	病院発車時刻(帰り)
1. 午前 7:30	2. 午前 8:45
3. 午前 9:30	4. 午前10:45
5. 午後 1:00	6. 午後 1:45
7. 午後 2:45	8. 午後 3:30
9. 行きは利用しない	10. 帰りは利用しない

1. ない
2. ある →

	市内発車時刻	市外病院発車時刻
第1希望	午前・午後 時 分	午前・午後 時 分
第2希望	午前・午後 時 分	午前・午後 時 分

1. ない → ※問12へ
2. ある → 利用頻度：年・月・週 に 回程度

1. 自家用車(自分で運転) 2. 家族や知人の送迎 3. バス 4. タクシー
5. その他()

3